

2学期がはじまりました

3年ぶりに行動制限のなかった夏休み。今年は長寿命化工事の準備等もあり、31日間という長野県としてはだいぶ長い長期休業となりました。子ども達はどんな夏休みを過ごしたのかな?充実した毎日を過ごせたのかな?そんな思いをもちながら、23日の朝校舎を回ってみると…。そこにはいつもと変わらない子ども達の生き生きとした表情がたくさんありました。「校長先生ひさしぶりー!」「クワガタたくさんとれたよ!」こちらから聞かなくとも、夏休みの出来事をどんどん話をしてくれました。自分の中だけででは収めておけないほどの経験ができたんだな、と嬉しくなった時間でした。

行動制限がないといってもここひと月あまりの感染状況はご存じの通りです。プラスバンド部の子ども達も3年ぶりのバンドフェスティバルに向けて張り切って練習を重ねていましたが、残念ながら映像審査に変更となりました。子ども達の心痛は察するに余りあります。コロナ禍となってもうじき丸3年となりますが、トンネルの出口がどこにあるのか?いつ出られるのか?は全く分からないというのが現状です。徐々にウイルスの感染力が高まり、子どもの感染が急増するなど学校においても感染拡大を防いでいくことが難しくなっていますが、基本的な感染防止策を引き続き継続しながら、日々の成長が著しい子ども達の学びを止めることのないよう、今後も努めていきたいと思います。

with コロナの生活では、何よりも毎日の体調把握が大切となります。朝は大変お忙しい時間であることを重々承知しながらも、引き続き朝の健康観察を丁寧にしていただき、体調に変化がある場合は登校を控えていただくよう、ここで改めてお願いいたします。

長寿命化改良工事がはじまります

夏休みに入った7月末に職員による荷造り、そして先週の金曜日と今週月曜日には職員による荷物の運び出しをしました。そして昨日、登校してきた子ども達が自分の荷物を仮設校舎に移動して引っ越しのすべてが終わり、今まで生活してきた古い校舎に思い思いに別れを告げて、新しい環境での生活がスタートしました。私が初めて仮設校舎に入った時、校舎の真ん中を廊下が貫き、その両側に教室がずらっと並びその光景に、自分が入学した古い木造校舎を思い出しました。これまでの学年ごとに棟が分かっているいわゆる『バッテリー校舎』とは全く違った使い勝手になるため、はじめは子ども達も戸惑うかもしれませんが、今回の工事後の高学年棟は1階から3階まですべて似たような教室の並びになりますから、少し早くその雰囲気味わえるということもあるかもしれません。これから3年半あまり、3期に分けて工事が行われます。今のところ、だいたいの見通しは以下の通りです。

1期工事：高学年棟 2023年11月末完成 2期工事：低学年1・2年生棟・東棟 2024年12月末完成
3期工事：管理棟 2025年12月末完成 ※詳しくは近日中に学校から通知を配付します。



平和への決意を新たに ～平和記念式典～

8月15日、あがたの森公園で松本市主催の平和祈念式典が開催されました。「平和の誓い」の像の前で臥雲市長が「核兵器のない世界と恒久平和の実現に向け努力を続けていく」との決意を表明した後、小中学生の代表が平

和への思いを発表しました。その中で、本校6年3組の三村ひよりさんが小学生の代表として平和への思いを長い作文に込め、堂々と発表してくれました。

「世界中にもっと優しさの輪が広がり、“ありがとう”という感謝の言葉が広がれば、世界は優しさにあふれ、戦争という無意味な争いはなくなると信じています。私は決して戦争をしたくありません。私は戦争で大切な人を失いたくありません。すべての国が平和であってほしい。」

残念ながら全文を掲載することはできませんが、おばあちゃんの姿などから、戦争や平和への思い、今から自分にできることなど真剣に考えただろうことが伺えました。子ども達がこんなに真剣に考えてくれている中、私たち大人は、あとは頼む！と争いのない平和な世の中をつくりあげることが当然のように次の世代への宿題として残してはいけないのでしょうか。ひよりさんに負けないよう、私もさらに真剣に考えなくては。